

客観的な目で温暖化対策を見てください。

現在のCO2排出量レベルを1990年と比べて6%の削減を義務づけた「京都議定書」の約束期間が来年からスタート。
ビューローベリタスは客観的な評価とアドバイスで、効率的で貢献度の高い温暖化対策をサポートします。

Expert in QHSE & SA

(Quality, Health&Safety, Environment and Social Accountability)

ビューローベリタスジャパン株式会社のご紹介

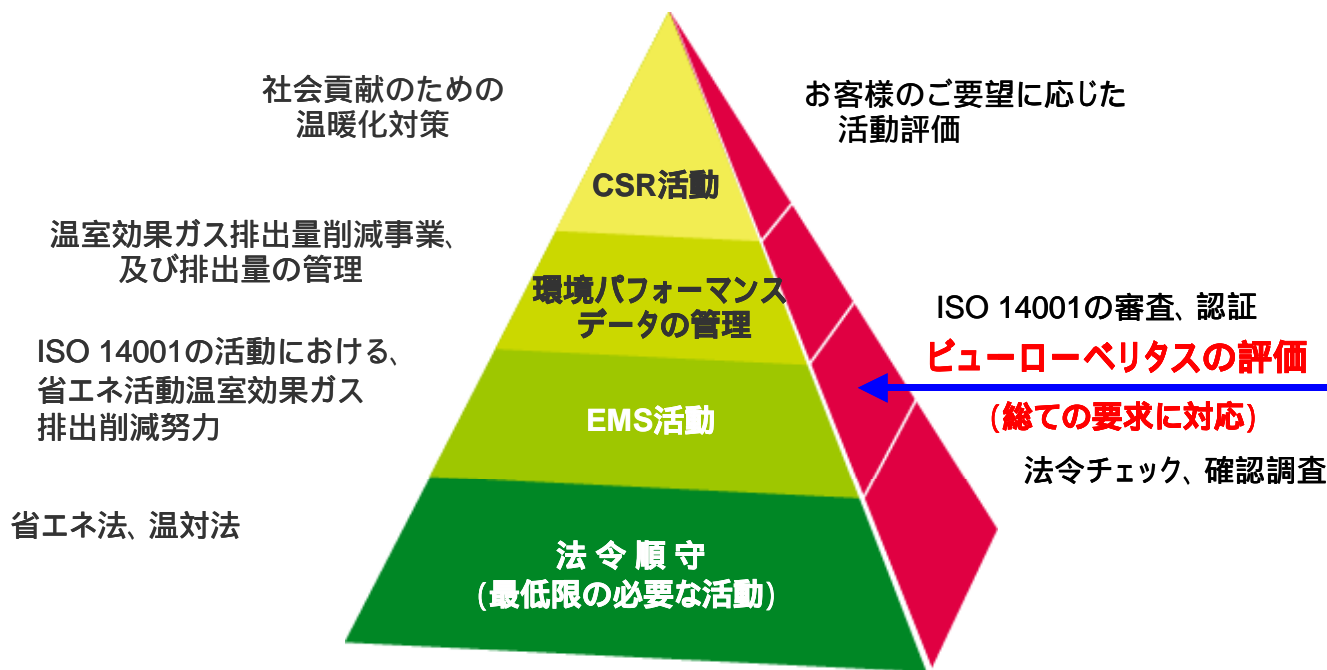
www.bureauveritas.jp

2007年5月





ビューローベリタスは、企業の温暖化対策を様々なレベルで適切に評価します。



メリット

- 客観的な評価を通じて、効率的で貢献度の高い温暖化対策をサポート
- 豊富な実績と経験に基づいて、各企業のニーズに対して幅広い対応が可能。
- 様々な分野の専門家があり、業種に特有の問題にも対応。

取り扱いサービス

ビューローベリタスでは、温室効果ガス排出量評価業務において、以下のサービスを実施しております。

様々なシステム、報告書・成果物、プロジェクトに対する、第三者としての評価サービス

例えば;

- 温室効果ガス排出量報告書の検証
- 温室効果ガス削減プロジェクトの有効性評価 - 国連CDM理事会認定審査機関
- 温室効果ガス排出量の管理システムの評価
- 環境報告書/CSR報告書の検証
- 省エネ法の確認調査業務 - 経済産業省・資源エネルギー庁登録調査機関
- 削減クレジットの評価

審査実績

ビューローベリタスは、様々な分野で国内外に数多くの経験・審査実績を持っています。

< 国内における実績 >

CSR・環境報告書

年度	顧客及び対象レポート
2006	リコー「リコーグループ環境経営報告書2006」
2006	ソニー「CSRレポート2006」
2006	豊田自動織機「社会・環境報告書2006」
2005	リコー「リコーグループ環境経営報告書2005」
2005	ソニー「CSRレポート2005」
2005	セイコーエプソン「サステナビリティレポート2005」
2005	豊田自動織機「社会・環境報告書2005」
2005	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン「CSR報告書2005」

年度	顧客及び対象レポート
2004	リコー「リコーグループ環境経営報告書2004」
2004	ソニー「CSRレポート2004」
2004	セイコーエプソン「サステナビリティレポート2004」
2004	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン「CSR報告書2004」
2003	リコー「リコーグループ環境経営報告書2003」
2003	セイコーエプソン「サステナビリティレポート2003」
2002-2003	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン「CSR報告書2002-2003」
2002	リコー「リコーグループ環境経営報告書2002」

環境省

- ✓自主参加型排出量取引制度における検証業務: 4件 (H18年度)
- ✓自主参加型排出量取引制度・モニタリング報告ガイドラインの策定 (H18年度)
- ✓欧州、米国における排出量取引制度調査業務 (H17年度)

資源エネルギー庁

- ✓指定登録調査機関として、改正省エネ法における確認調査業務

経済産業省

- ✓エネルギー使用合理化取引市場管理等実証事業 (中小企業に対するCO₂排出量認証委託事業) における検証業務: 4件 (H17年度)

その他

- ✓WWFクライメートセイバーズプログラムにおける、ソニーグループ排出量の第三者検証
- ✓コンビナートにおける廃熱回収・熱融通プロジェクトにおける省エネ量の評価、複数工場間での省エネ量メリット配分案の認証 (NEDO: H16,17,18年度)

< 海外における実績 >

国連CDMプロジェクト

- ✓100件以上のCDMプロジェクト (ブラジル・インド・中国等でValidation/Verification)
- ✓他に20件以上のCDMのValidation/Verificationの準備

EU ETS – EU排出量取引市場

- ✓25加盟国中、13カ国で検証サービスを提供 (約1000施設で検証実施)
- ✓主要顧客: シェル 他

CCX - シカゴ気候取引所 (Chicago Climate Exchange)

- ✓CCXの公認検証機関

CCAR カリフォルニア気候変動レジストリ (California Climate Action Registry)

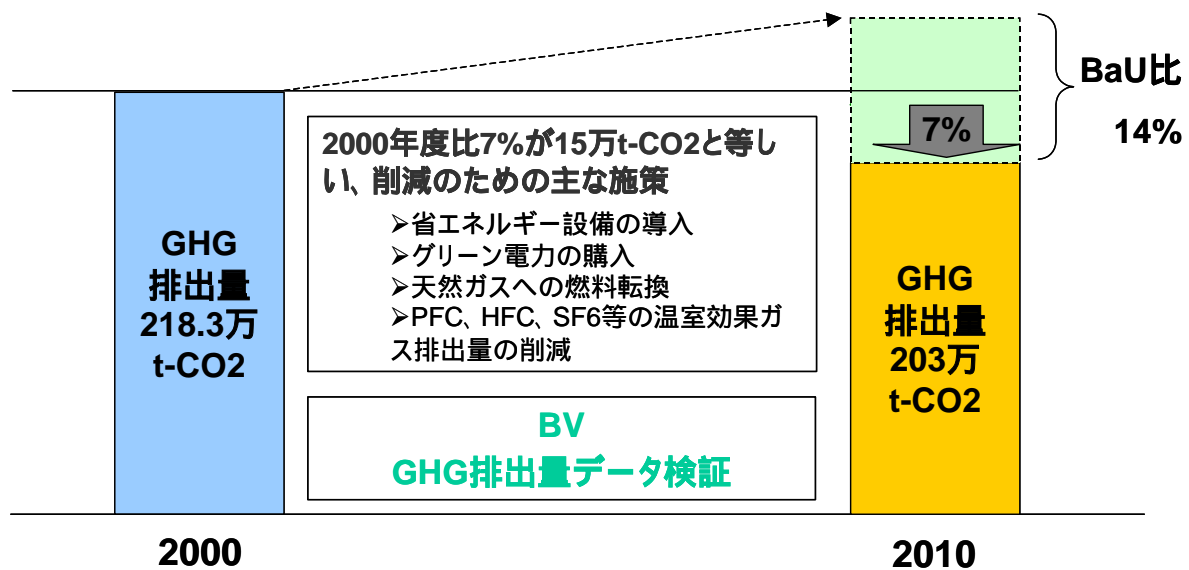
- ✓CCARの公認検証機関
- ✓主要顧客: ヒューレット・パカード

事例紹介

ビューローベリタスが行っている国内外の第三者検証事例を紹介します。

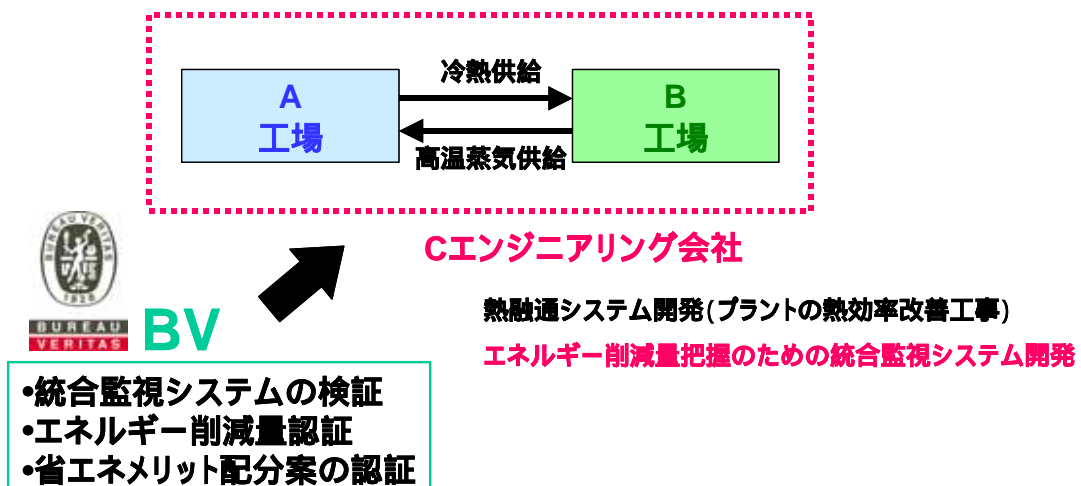
事例 ソニー：WWFクライメートセイバーズプログラムでのGHG排出量検証

WWFとの協働プログラムであるクライメートセイバーズプログラムにおいて、ソニーは2010年度までに、ソニーグループ合計CO₂換算温室効果ガス排出量を2000年度比7%削減を約束しました。グループ全体の排出量の第三者検証をBVが担当しています。



事例 NEDO：コンビナートにおけるエネルギー使用量の削減

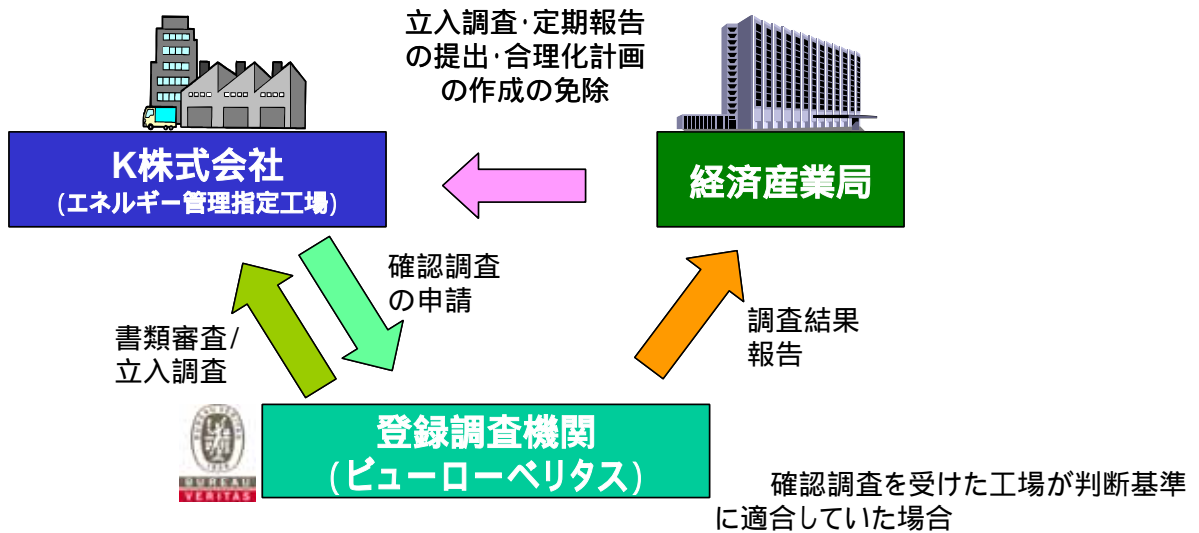
熱融通技術を利用したA工場、B工場共同での省エネ活動による省エネ効果の評価と、省エネメリットの2社による配分案の認証を行っております。同案件の配分案に対する評価は世界初であり、今後のピンチテクノロジー技術の国内展開により、第三者による評価が重要となってきます。



事例

資源エネルギー庁：改正省エネ法・確認調査制度

BVでは、昨年度より省エネ法・確認調査制度の業務を開始しました。これは、経済産業省の立入検査に代わり、事業者の申請に基づき、第三者機関が立入調査と同等の事項を確認を行う制度です。K株式会社は確認調査制度を利用し、自社の省エネ活動を評価し、改善活動につなげると同時に、省エネ法の定期報告の信頼性を高めました。



質問・お問い合わせは下記までお願いいたします。

- ✓ GHG審査業務全般 (GHG審査、確認調査制度)
- ✓ ISO審査全般
- ✓ 環境報告書、CSRレポート、GHG排出量などのデータ検証
- ✓ 品質、健康と安全、安全対策および環境 (QHSE) に関連する情報提供
- ✓ セミナー、トレーニング



Expert in QHSE & SA

ビューローベリタスはフランスに本部を置き、178年の歴史と140カ国での実績を持つ民間第三者検査・認証機関です。品質、健康・安全、環境及び社会的責任へのマネジメントを通じて、リスクの低減あるいは業務改善を実現し、経済価値を提供します。

<お問い合わせ先>

ビューローベリタスジャパン株式会社
事業開発本部 環境ビジネス部
担当：仲尾、木下、佐野

TEL: 045-641-6024

FAX: 045-641-7992

URL: <http://www.bureauveritas.jp>

E-mail: ghg@jp.bureauveritas.com